

市民自らが未来を描ける管理運営計画を、管理運営予定者が主体となり策定します

市民の“やりたい”を支え、未来にむけて市民とともにそだつ施設づくりを目指します

市民のやりたいを生み、活動や思いを大きくしながら、藤沢市全体へと広げます



図1 ふじさわMIRAIファームの未来予想図

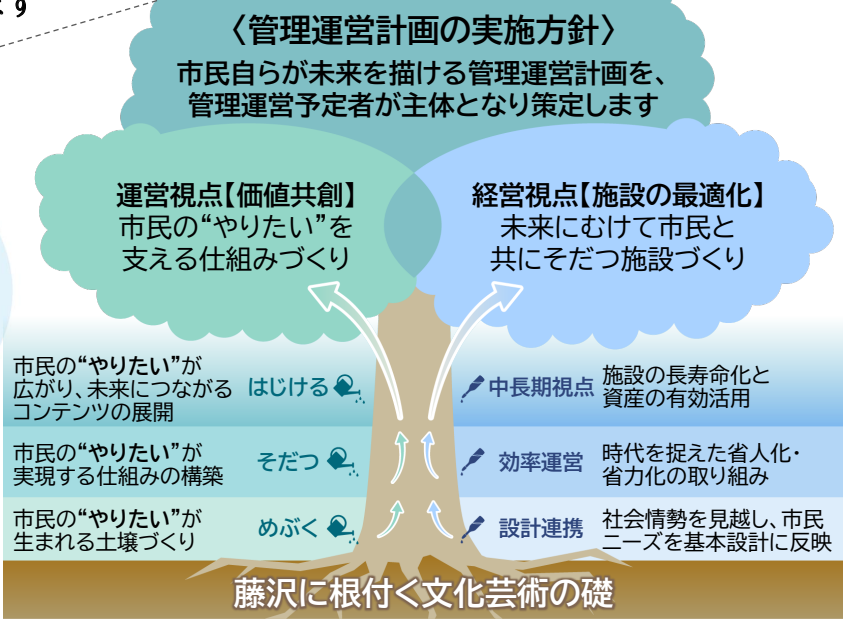


図2 実施方針と運営・経営指針の成長イメージ

市民と藤沢市の成長と共創が持続する未来の実現のため、「ふじさわMIRAIファームの未来予想図」を構想し目指します

私たちは、管理・運営計画策定業務を、OUR Projectの基本理念に基づいたビジョンの実現をのため、開館後の活動まで見据えた長期プロジェクトとして推進します。私たちは、FUJISAWA MIRAI Lab.と称した（図6）市民が様々な活動を通じて自ら成長し、自立自走できるような仕組みづくりを行います。そして、市民と藤沢市が成長し、共創が持続する未来の実現を目指す「ふじさわMIRAIファームの未来予想図」（図1）を構想しました。

さらに、市民を巻き込む「共創スキーム」を基盤に、市民・市・基本設計者・管理運営予定者の4者がOneチームとなり、密接な連携を取りながら、「価値共創」「施設の最適化」という2つの取り組み視点と、「市民自らが未来を描ける管理運営計画を、管理運営予定者が主体となり策定します」という実施方針を掲げ遂行します。

市民の“やりたい”コンテンツを市民目線で検証、共創により地域課題に取り組みます

「体験」「実践」「挑戦」を支援する仕組みづくり

市民の“やりたい”を後押しできる仕組みとして「FUJISAWA MIRAI Lab.（市民参画プラットフォーム）」を立ち上げます。市民とコンテンツについて検討し、「体験」する機会、「実践」できる体制づくり、「挑戦」を促す仕組みを構築しながら、地域課題にも取り組みます。参加しやすく、失敗を恐れず、何度でもチャレンジできる場を創ります。



図5 市民とコンテンツ検討のワークショップ実施例

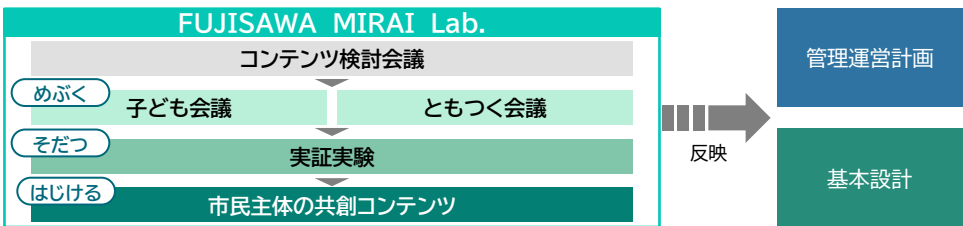


図6 FUJISAWA MIRAI Lab.を中心としたコンテンツ検討の仕組み例

文化を旗印に全ての市民が参加するプロジェクトを目指します

全ての市民が参画できる機会づくり

積極的に活動をしている人も、やりたいことがない人も、自分なりに街づくりに関わる機会を見出し、そこから新たな活動が生まれるような循環サイクルを、「FUJISAWA MIRAI Lab.」を通じて構築します。全ての市民が参加できるプロジェクトは、施設や街を育て、人が集い、新たなやりたいことが芽吹くという好循環を生むことに繋がります。



図8 市民参画のイメージ



図7 市民参画のイメージ



図9 市民参画のイメージ

運営・劇場計画のプロが共同事業体として業務を実施します

私たちは、業界のリーディングカンパニー3社による共同事業体を組成します。「市民との共創」「管理運営計画・劇場計画」「地域に密着した総合施設管理」等、豊富な運営経験で培われてきた市民目線を計画当初から基本設計者と協働することで、市民活動（ソフト）と施設（ハード）の両面から検討が進み、何十年と続くこの施設での市民活動がより良いものとなります。

企業	特徴	実績
代表企業 A社	市民と共創を軸にした管理運営エキスパート	・20施設超の指定管理運営、文化施設50施設の運営 ・年間100万人強のお客様接点
構成員 B社	管理運営計画・劇場計画策定のプロフェッショナル	・240件超の劇場・複合施設の管理運営・設計各種計画策定
構成員 C社	地域に密着した総合施設管理の最大手	・500施設超の公共・民間施設におけるサービス拠点での施設管理

図3 共同事業体の特徴と実績

市民の声を反映する共創スキームを基盤に実行します

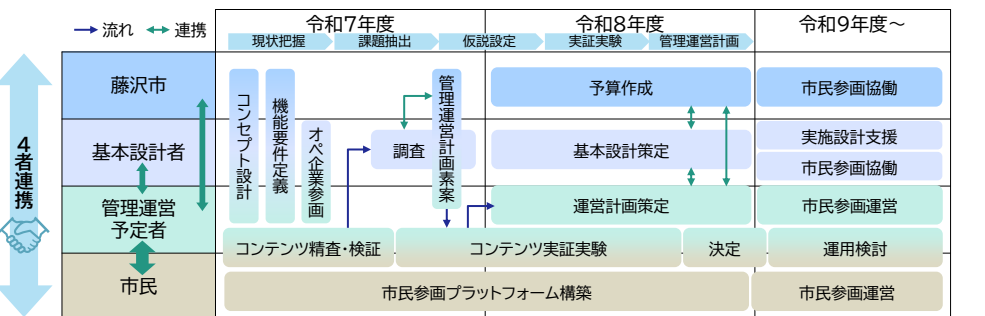


図4 共創スキーム

奥田地区の価値を向上させ、市内外へ広げていくエリアマネジメントを展開します

「人が集まり、豊かな文化と自然が育まれる奥田地区」へ

私たちは藤沢市に刻まれてきた長い歴史や個性あふれる魅力を大切にしながら安心・安全なまちづくりを目指します。本施設を中心にエリアを3層に分け、防災や地域活性化等といった視点で、場の価値を高め、広げていくエリアマネジメントを目指します。

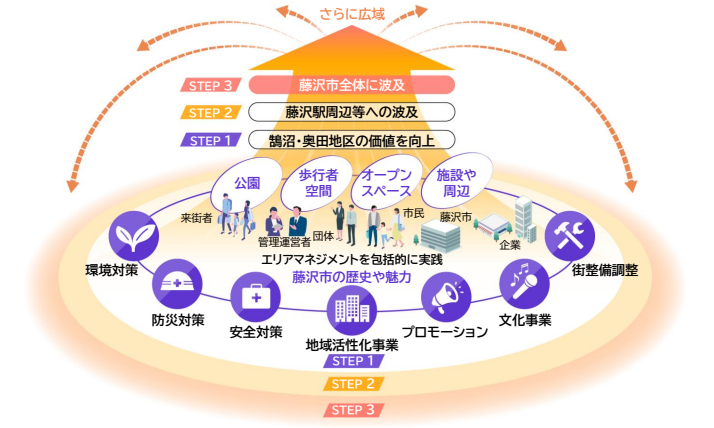


図10 エリアマネジメントの考え方概念図

STEP 1	奥田地区	オープンスペースから始めるアクション
STEP 2	藤沢駅周辺	奥田地区から駅周辺へ波及
STEP 3	藤沢市全体	交通、観光等を巻き込む広域連携